

令和7年度 介護保険サービス提供事業者調査(案)

【資料3-4】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
要「貴事業所の概要をおたずねします」	問1 貴事業所が府中市内で提供しているサービス(予防を含む)は次のうちどれですか。 (1)封筒の宛名に記載されているサービス名の種別に○をつけてください。(1つに○)	
	(2)上記以外の介護保険サービスを提供していますか。(いくつでも○)	
	(3)介護保険以外のサービスを提供されていますか。(いくつでも○)	
い「事業運営にまつおたずねします」	問2 貴事業所の昨年度の事業採算について、差支えなければお答えください。	
	問3 貴事業所における職員の離職状況などについてお答えください。 (1)昨年1年間(令和6年 月 日～令和7年 月 日)の職種(業務区分)別の離職状況 (2)把握している範囲で結構ですので、離職理由についてお答えください。(いくつでも○)	
つ「事業運営にまつおたずねします」	(3)離職者が出ないようにしている工夫について、お答えください。(いくつでも○)	○
	問4 貴事業所では、職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えていますか。(いくつでも○)	
サ「サービス提供にまつおたずねします」	問5 サービス提供で困難だったケースがありましたか。(1つに○)	
	《問5で「1. ある(あった)」とお答えの事業所におたずねします》 問5-1 それはどのようなケースですか。(いくつでも○)	
	問5-2 前記のケース対応にあたり、必要な行政支援としてどのようなことが考えられますか。具体的にお書きください。	
	問6 貴事業所では介護予防・日常生活支援総合事業(以下「総合事業」)のサービスを提供していますか。(1つに○)	
	《問6で「3. 提供していない」とお答えの事業所におたずねします》 問6-1 総合事業のサービスを提供しない理由は何ですか。(いくつでも○)	
	《問6で「1」又は「2」(提供している)とお答えの事業所におたずねします》 問6-2 総合事業のサービスを提供していくうえで、どのような課題がありますか。(いくつでも○)	
	問7 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。(それぞれ3つまで選んで番号を記入)	
に「サービス提供の質の向上にまつおたずねします」	問8 貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(いくつでも○)	
	問9 貴事業所における現在の職員の過不足についてお答えください。(○は1つ)	
	問10 貴事業所において、特に人材確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○)	
	問11 人材を確保するためにどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)	
	問12 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、様々な支援策がありますが、有効と考えられるものは何ですか。(3つまでに○)	
	問13 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)	
	問14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)	
組「人材確保にまつおたずねします」	問15 外部の研修や事例検討、勉強会について、非常勤を含む職員が積極的に参加できるよう支援していますか。支援していない場合は、その理由を具体的にお書きください。	
	問16 貴事業所の職員に受けさせたいと思われる研修はどのようなことがありますか。	
	問17 貴事業所では福祉サービス第三者評価※を受審したことがありますか。(1つに○)	
	《問17で「2. ない」とお答えの事業所におたずねします》 問17-1 受審をしたことがないのはなぜですか。(いくつでも○)	問17と統合
ビ「認知症にまつおたずねします」	問18 認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎)	
	問19 貴事業所では、認知症患者の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)	
	問20 今後、認知症患者の支援にあたり、必要になることは次のどれですか。(3つまでに○)	

令和7年度 介護保険サービス提供事業者調査(案)

【資料3-4】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
【医療と介護の連携の状況についておたずねします】	問21 市内の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに○)	○
	《問21で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします》 問21-1 そのように思う理由は何ですか。(いくつでも○)	
	問22 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)	
	問23 貴事業所(貴機関)では、MCS(メディカル ケア ステーション)を活用していますか(1つ)	
	《問23で「3. 活用していない」とお答えの事業所におたずねします》 問23-1 その理由は何ですか。	
	問24 貴事業所のサービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ケそれぞれ1つに○)	
	問25 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。(2つまでに○)	
	問26 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。(3つまでに○)	
	問27 貴事業所では、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。	
問28 貴事業所では、医療機関(病院(地域連携室)、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション)にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。		
【共生型サービスについておたずねします】	問29 介護保険法では、高齢者や障害のある人がともに利用できる「共生型サービス」が新設されましたが、貴事業所では共生型サービスの提供についてどのようにお考えですか。(1つに○)	
	《問29で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします》 問29-1 準備又は検討している共生型サービスの種類は何ですか。(いくつでも○)	
	問29-2 共生型サービスを提供するにあたって、課題等があれば、ご自由にお書きください。	
【災害時等の体制についておたずねします】	問30 災害弱者に対する対策が重要となっていますが、貴法人では、災害時のマニュアルを作成していますか。(1つに○)	
	《問30で「1」～「4」とお答えの事業所におたずねします》 問30-1 マニュアルに次の内容は含まれていますか。(いくつでも○)	
	問31 貴事業所では、BCP(災害時の事業継続計画)を策定していますか。(1つに○)	
	問32 貴事業所では地震等の災害が発生したときの避難訓練や安否確認の訓練を実施していますか。(1つに○)	
	問33 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)	
問34 災害発生時における貴事業所が抱える課題などについてお書きください。(例: サービス利用者の安否確認が事業所間で共有できない など)		
【感染症】	問35 感染症防止のために貴事業所が取り組んでいることは何ですか。(いくつでも○)	
【地域との関わりについておたずねします】	問36 貴事業所では、以下のような地域の各団体や組織との関わりはありますか。(いくつでも○)	
	《問36で「1」～「10」とお答えの事業所におたずねします》 問36-1 どのような関わりがありますか。(いくつでも○)	
	問37 貴事業所では、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議(地域支援連絡会)に参加したことはありますか。(1つに○)	
	《問37で「1. ある」とお答えの事業所におたずねします》 問37-1 地域ケア会議を活発にするために必要と思われることは何ですか。(2つまでに○)	
【新型コロナウイルス感染症の影響についておたずねします】	問38 貴事業所では、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して、休業しましたか。(1つに○)	
	問39 自主的に貴事業所の利用を控えた利用者はいましたか。(1つに○)	
	《訪問サービスを提供している事業所におたずねします》 問40 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者宅への訪問サービスを控えましたか。(1つに○)	
	《問40で「1. 控えた」を選択した方におたずねします。》 問40-1 代替措置を講じましたか。(1つに○)	
	問41 新型コロナウイルス感染症禍における経営への影響の対応として、特に苦慮されたことはありますか。(いくつでも○)	
【事故防止策についておたずねします】	問42 貴事業所には、ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)の決まった様式がありますか。(1つに○)	
	問43 貴事業所には、ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)の報告基準や報告手順のマニュアルはありますか。(1つに○)	
	問44 貴事業所では、ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)がどの程度提出されていると感じますか。(1つに○)	
	問45 報告のあがったヒヤリハット報告書(インシデントレポート)をどのように活用していますか。(いくつでも○)	
	問46 行政報告をした事故に関して、事業所内での情報共有や再発防止の取組をどのように行っていますか。(いくつでも○)	

令和7年度 介護保険サービス提供事業者調査(案)

【資料3-4】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
居所変更実態調査票	問47 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○) ※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。	
	問48 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。 1) 施設等の名称、2) 定員数など、3) 入所・入居者数、4) (貴施設等への)入所待機者数、5) 特別養護老人ホームの入所待機者数(申込者数) ※ 「2) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。 ※ 4、5は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。	
	問49 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入) ※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。	
	問50 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)	
	《ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。》 問51 過去1年間(令和6年 月 日～令和7年 月 日)に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数★をご記入ください。 ※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。	
	問52 問51でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。 ※ ここでご記入いただいた「14) 合計」と、問51でご記入いただいた「新規の入所・入居者数(合計)」(★欄)が一致することをご確認ください。 ※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。	
	《ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。》 問53 過去1年間(令和6年 月 日～令和7年 月 日)に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。 ※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めないでください。	
	問54 問53でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。 ※ 死亡(搬送先での死亡を含む)した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。 ※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」(★欄)が一致することをご確認ください。	
	問55 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。 ※ ここでご記入いただいた「16) 合計」と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」(★欄)が一致することをご確認ください。 ※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。	
	問56 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。	
在宅生活改善調査票 事業	問57 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。	
	問58 貴事業所において、過去1年の間(令和6年 月 日～令和7年 月 日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数(要介護度別)」をご記入ください。合計人数★ ※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。	
	問59 貴事業所において、過去1年の間(令和6年 月 日～令和7年 月 日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から居場所を変更した利用者数(行き先別)」をご記入ください。 ※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。 ※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数(★欄)が一致することをご確認ください。	
在宅生活改善調査票 利用者票	問60-1 世帯類型	
	問60-2 現在の居所	
	問60-3 要支援・要介護度	
	問61 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください 問61-1 (1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください	
	問62-2 (2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください	
	問63-3 (3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください	
	問63-4 【問63-1で「3」を選択の場合】 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください	
	問63-5 【問63-1で「4」を選択の場合】 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください	
	問63-6 【問63-1で「5」を選択の場合】 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください	
	問64-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。	
	問64-2 問64-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください	
	問64-3 【問64-2で「10」～「17」を選択の場合】 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください	
	問64-4 【問64-2で「10」～「16」(※特養以外)を選択の場合】 入所・入居できていない理由をお答えください	
問64-5 【問64-2で「17」(※特養)を選択の場合】 特養に入所できていない理由をお答えください		

令和7年度 介護保険サービス提供事業者調査(案)

【資料3-4】

※ 網掛け部分は、前回実施した設問ですが、今回の実施においては削除する予定の設問として表示しております。

設問		市必置
介護人材実態調査票 事業所票	問65 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（訪問系、施設居住系、通所系） ※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている施設等）で行うサービスについて、お答えください。（1つに○）	
	問66 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします ※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。） ※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。 問66-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）	
	問66-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）	
	問66-3 令和7年 月 日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。 過去1年間（令和6年 月 日～令和7年 月 日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。	問3と 統合
	問66-4 問66-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）	
	問67 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。 (1)資格の取得、研修の修了の状況、(2)雇用形態、(3)性別、(4)年齢、(5)過去1週間の勤務時間※ 残業時間を含む。休憩時間は除く、(6)現在の施設等での勤務年数、(7)現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む、(8)直前の職場について	
介護人材実態調査票 職員票	問68 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）	
	問69 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに○）。	
	問70 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。 1) 雇用形態（1つに○）、2) 性別（1つに○）、3) 年齢（数値を記入）、4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）※ 問68で回答した勤務先における時間、5) 現在の事業所での勤務年数（数値を記入）	
	問71 問70の5)で「2.」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください（1つに○）。	
	問72 問71で「3.」～「8.」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。 1) 場所（1つに○）、2) 法人（1つに○）	
	【職員票（訪問介護員向け）】 この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。 ※直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。（例.水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください） ※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。 ※障害サービスの提供は除いてください。 ※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。 ※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。 ※身体介護とは、自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援・ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む	
	問73 介護給付による訪問について記入	
	問74 介護予防給付・総合事業による訪問について記入	
向府中市への おた す め す	問75 今後、保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは何ですか。 （2つまでに○）	
	問76 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。	